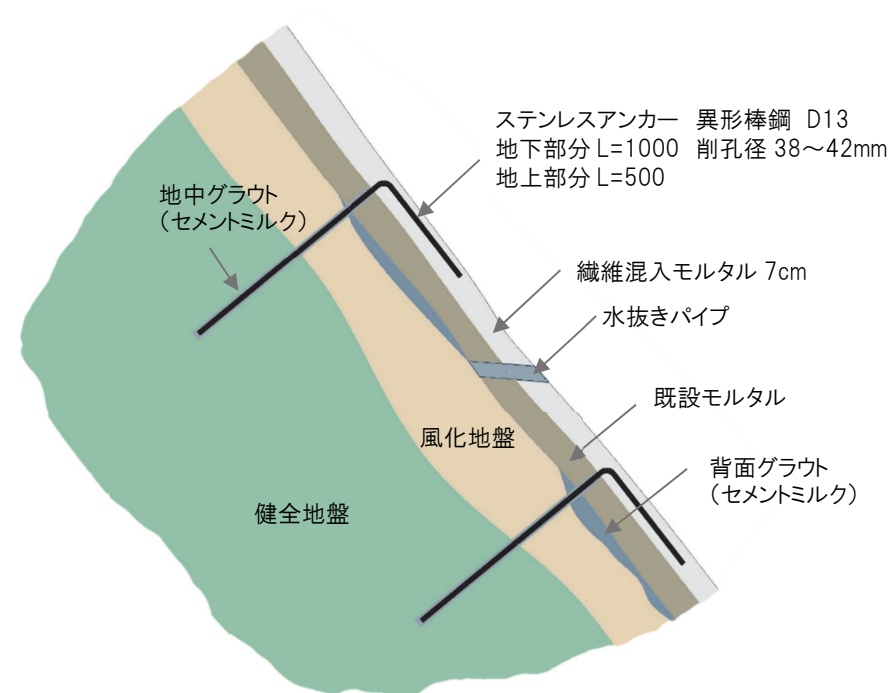


長寿モルタル補修工法

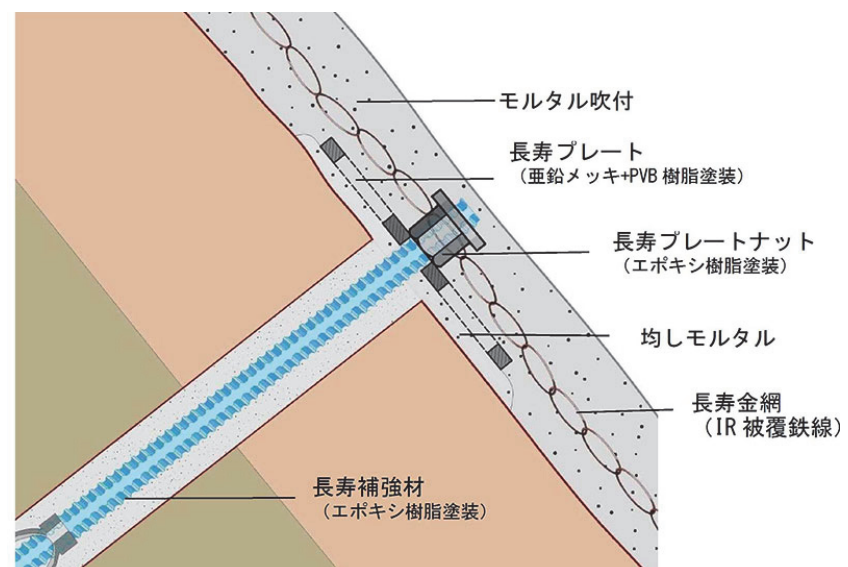
LL モルタル補修工

繊維混入モルタルで補修。地山が安定な場合。



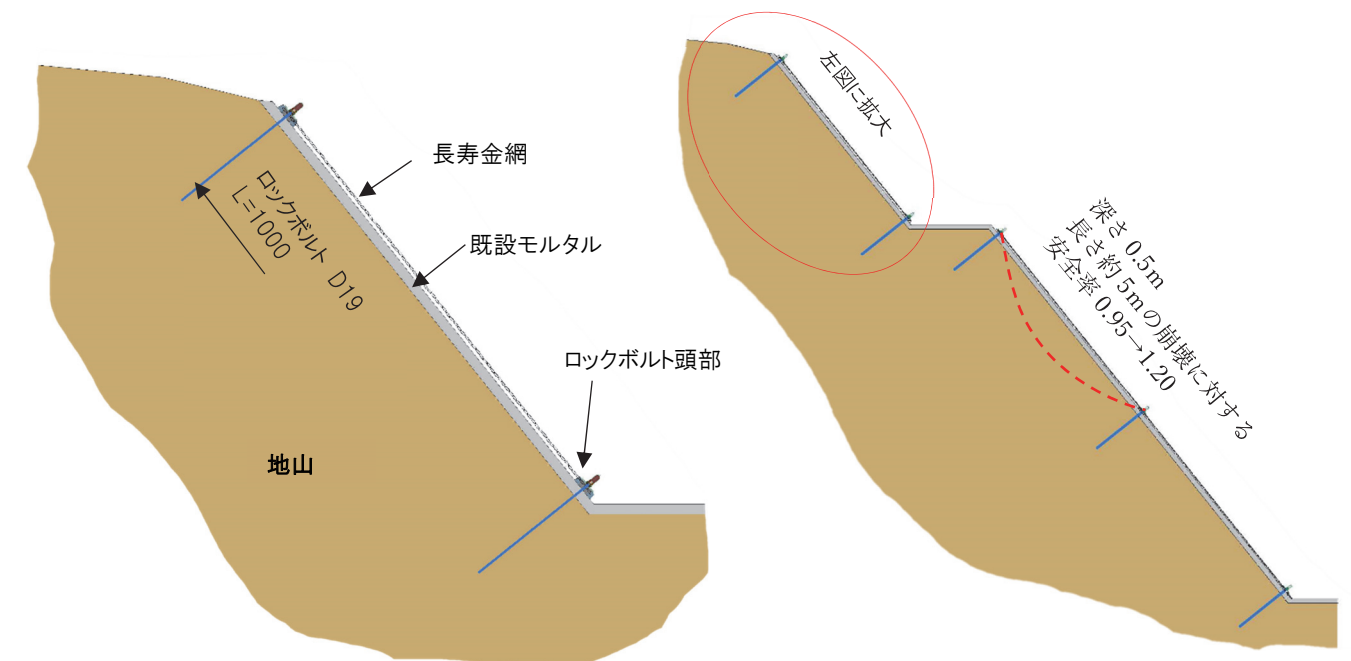
長寿命補強土モルタル吹付型

モルタルを剥ぎ取らず、追加モルタルで補修。地山が不安定な場合。



長寿金網防護工

高耐久性の金網で老朽化モルタルの落下を防止。地山が不安定な上部法面を「長寿命補強土植生型」で施工し、安定な下部斜面を「長寿金網防護工」で対応できます。



長寿命補強土植生型

モルタルを剥ぎ取らず、高耐久性の金網で防護。地山が不安定な場合。

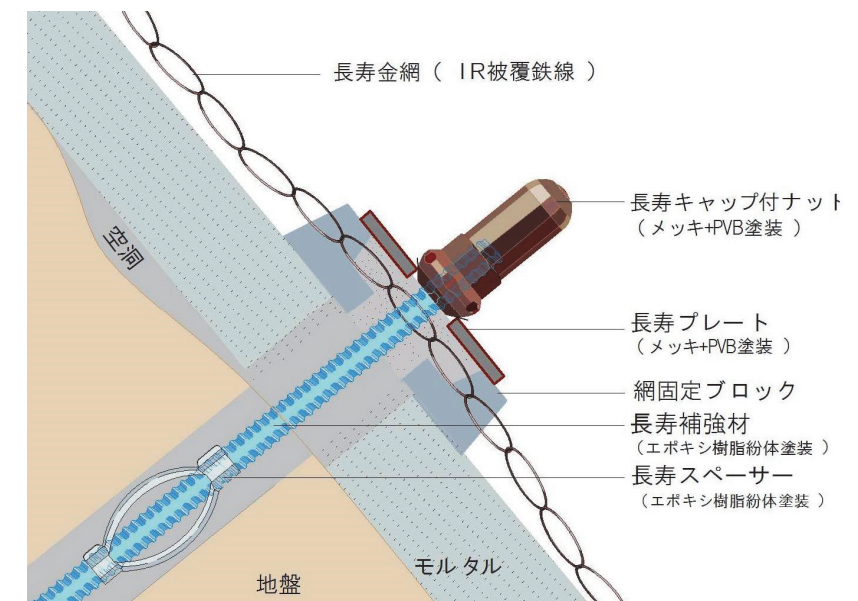


表-1 各工法の特徴

名 称	不安定土塊の 最大厚さ(m)	モルタル撤去の 必要性	新設法面 適用	最表層の 構造物	補強材の基本ピッチ(m)		特 徴	目安となる㎡当たり単価	
					水平	縦		(万円)	算定条件
LL モルタル補修工	—	撤去不要	○	繊維モルタル	1.5	1.5	L 型のステンレス異形棒鋼は繊維モルタルの固定にも効果を発揮する。	1.1	風化領域の厚さ 0.5m未満
長寿金網防護工	0.5m 程度	撤去不要	○	高耐久金網	1.5	(5m 以下)	高耐久金網で法面からのモルタル落下を防止する。ロックボルトの長さは地盤に左右される。	1.1	削孔法の違いで著しく変化
長寿命補強土モルタル吹付型※1	4.0m 程度	撤去不要	○	モルタル	1.5	1.5	使用する部材は、すべてが高耐久性部材で、コンクリートで被覆されるため極めて高耐久性である。	2.1	補強材 2.5mの場合
長寿命補強土植生型※1	4.0m 程度	撤去不要	○	高耐久金網	1.5	1.5	モルタルの上に張った高耐久金網がモルタルの落下を防止する。	1.7	補強材 2.5mの場合

※1：工法の詳細は、各工法のパンフレットをご覧ください。

【概要】

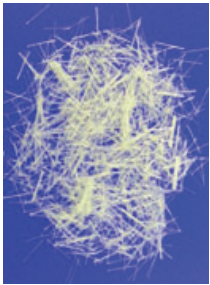
本モルタル補修工法は、のり面の老朽化したモルタルを撤去することなく、補修できる工法です。LL モルタル補修工では、既存の老朽化モルタルの表面に繊維モルタルを増し吹きします。地山が不安定な場合には、長寿命補強土モルタル吹付型などを選定ください。長寿モルタル補修工法に使用するロックボルト・金網などの資材は、エポキシ樹脂塗装鉄筋・IR 被覆鉄線・PVB 樹脂塗装などを使用し、非常に耐久性に優れています。

【使用部材概要】（本工法で使用する部材の詳細は、各工法の個別資料をご覧ください。）

LL モルタル補修工



D13 ロックボルト ステンレス（SUS304）
メッキ処理のロックボルト（異形棒鋼も制作可能）



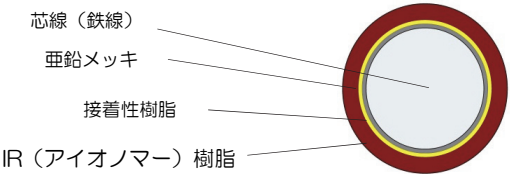
モルタル混入繊維

RFS400×18(クラテック)
直径 200μ 長さ 18 mm
引張強度 975MPa
標準添加量 10kg/m³

長寿金網防護工



長寿金網



長寿金網の断面



モルタル混入繊維

長寿命補強土モルタル吹付型



既設モルタル上に設置
この上にモルタル増設



補強材 ネジフシ棒鋼 D19
土木学会指針 2003 適合



長寿プレートナット
エポキシ樹脂塗装品



長寿プレート
エポキシ樹脂塗装品



長寿スペーサー
エポキシ樹脂塗装品

長寿命補強土植生型



施工中



長寿キャップ付ナット
を装着中



網固定ブロック
GRC

- 本工法で使用する部材の詳細内容は、各工法の個別資料（ホームページに資料掲載）をご覧ください。パンフレットなどの個別資料は、下記までお電話や E メールでご請求ください。
- パンフレット内容は変更することがあります。最新の情報と工法の詳細は、長寿補強土（株）のホームページでご確認下さい。

170821

長 寿 補 強 土 （ 株 ）

〒891-0103 鹿児島市皇徳寺台 4-51-7

TEL:099-275-9234 FAX:099-275-9235 URL: <http://www2.synapse.ne.jp/~llh/>